

## 共同利用・共同研究に関わる各種お知らせ

### 共同研究専門委員会よりお知らせ

共同研究専門委員会では、分子科学研究所が公募している課題研究、協力研究、分子研研究会、若手研究会、および岡崎コンファレンスの申請課題の審査を行っています。それぞれの公募の詳細については分子研ホームページ (<http://www.ims.ac.jp/guide/>) を参照いただきたいと思います。

共同研究の現状について、平成21年度から平成27年度前期分（平成27年6月22日現在）までの採択数の推移をまとめたものを下記に示しました。分子科学研究所は、文部科学省「ナノテクノロジープラットフォーム」事業における「分子・物質合成プラットフォーム」の実施機関となっており、通常の協力研究に加え、本事業における協力研究も実施しています（通常の協力研究や施設利用の一部を事業扱いにしている）。また、下表にある「特別協力研究」とは、分子研の共同利用研究のための予算に頼らず、研究者自身の予算を使用して実施された共同研究です。萌芽的な段階における共同研究や来所を伴わない共同研究なども含まれています。「特別協力研究」により共同研究の芽を見出すことができた際には、是非、積極的に「協力研究」や「課題研究」に応募いただきたいと思います。

昨年度に課題研究の見直しを行い、平成27年度前期の公募から、課題研究を二つのカテゴリー（課題研究「一般」と課題研究「新分野形成支援」）に分けて公募することにしました。課題研究「一般」は、従来通りの課題研究です。これに対して、課題研究「新分野形成支援」では、今年度、下に示す四つの課題を設定し、公募を行いました。

- (1) 理論と実験の融合による水溶液の特異性と生体分子の機能発現の解明 (2) 乱雑量子系における多体相互作用の研究  
(3) 分子性物質の機能性科学 (4) 新しい駆動原理に立脚する分子変換・エネルギー変換

その結果、設定課題(3)、(4)について、それぞれ1件の申請を採択するに至りました。課題研究「新分野形成支援」では、新しい研究分野形成のために所内外の研究者が連携するための支援（大型外部資金獲得のための準備支援なども含む）を主な目的としています。その設定課題については、毎年度、新たな課題を設定する予定ですので、よいアイデアがありましたら、是非、所内教員あるいは共同研究専門委員会委員長（[aono@ims.ac.jp](mailto:aono@ims.ac.jp)）まで、ご提案頂きたいと思っております。

### 共同利用研究の実施状況（採択件数）について

種 別	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度 (6月22日現在)
課題研究	1	0	1	1	2	1	2
協力研究	119	122	108	123	64	64	30
特別協力研究*					167	224	—
協力研究（ナノプラット）	—	—	—	—	51	63	20
分子研研究会	5	6	4	10	10	6	4
若手研究会等	1	1	1	1	1	2	1
岡崎コンファレンス	—	—	—	1	1	1	0
計	126	129	114	136	296	361	57

\*平成24年度以前は集計せず。平成25年度以降は毎年度末に集計。表の数値は国内分のみ。海外との共同研究は、平成25年度77件、平成26年度150件。

### 分子研研究会

開催日時	研究会名	提案代表者	参加人数
平成27年1月6日～7日	生物無機化学の最先端と今後の展望：金属と生体分子の作用機序解明とモデル化および応用への展開	林 高史（大阪大学大学院工学研究科）	58名
平成27年3月15日～16日	金属イオンを用いた超構造体の構築と機能——錯体化学における境界領域研究の現状と展望——	二瓶雅之（筑波大学数理物質系化学域）	36名
平成27年4月20日～21日	膜タンパク質内部のプロトン透過を考える	神取秀樹（名古屋工業大学大学院工学研究科）	114名
平成27年6月12日～13日	Supramolecular Dynamics at the Interface of Chemistry and Biology	上野隆史（東京工業大学大学院生命理工学研究科）	38名
平成27年6月27日～28日	キラル磁性×光学物性研究会	井上克也（広島大学大学院理学研究科）	43名

### 岡崎コンファレンス

開催日時	研究会名	提案代表者	参加人数
平成27年2月3日～5日	Frontier of X-ray Absorption Spectroscopy and Molecular Science	横山利彦（分子科学研究所）	50名